

東南アジア(ベトナム)トッププロモーションの実施結果について

平成27年12月24日
広域観光・文化・スポーツ振興局

昨今の経済発展が著しく、とりわけビザの緩和等により訪日客が増加しているベトナム・ホーチミン市において、「関西」の認知度向上・誘客促進を目指し、関西経済界等と連携して、下記のとおりトッププロモーションを実施しました。

記

1 実施日 平成27年11月27日(金)～29日(日)

2 主な参加者

関西広域連合
井戸 敏三 連合長(兵庫県知事) <団長>
秋山 喜久 協議会会長
山口 知之 滋賀県商工観光労働部次長
藤本 陽司 和歌山県商工観光労働部長 ほか

国
天谷 直昭 近畿運輸局長

関西経済界
松村 孝夫 公益社団法人 関西経済連合会 専務理事
光山 清秀 一般社団法人 日本旅行業協会 関西支部長
木下 博夫 公益財団法人 国立京都国際会館 館長
小柴 善博 一般財団法人 神戸国際観光コンベンション協会 会長
小関 貴裕 新関西国際空港株式会社 航空営業部長 ほか

3 概要

(1) ホーチミン市・各省観光関係者、旅行エージェントとの意見交換会

(11/27(金)16:00-17:30 ミントランガーデン)

ホーチミン市観光局ラ・クオック・カン副局長からの歓迎挨拶の後、ホーチミン市観光局による観光プレゼンテーションが行われた。その後、訪問団が2つのグループに分かれて、現地の旅行エージェント等と意見交換を実施した。その中で、井戸連合長から、ベトナムからの訪日観光客数が今年すでに昨年を上回っている状況等を説明し、さらなる観光客の関西への送客を依頼した。ホーチミン側からは、訪日ビザのさらなる緩和等の要望や大阪の宿泊施設の予約が取りにくい等の意見があった。

また、セミナー会場では、関西やベトナム各省のPRブースを設け、お互いの観光情報を交換するとともに、関西へのさらなる観光客誘致のためのアピールを展開した。



(2) 関西観光セミナー (11/27(金)18:00-19:10 ミントランガーデン)

ベトナムの旅行会社、メディア関係者、国内省長など約 100 名を招いて関西観光セミナー開催をした。

まず、井戸連合長が、関西の観光に関するプレゼンテーションを行い、広域観光周遊ルート「美の伝説の旅」と称して、構成府県市の見所や関西の温泉・食・ショッピングを紹介するとともに、関西で開催される 2019 年のラグビーワールドカップと 2021 年のワールドマスターズゲームズの P R も行った。

続いて、秋山連合協議会長（大阪国際会議場取締役社長）が、MICEに関するプレゼンテーションを行い、関西での国際会議等の開催の優位性をアピールした。

その後、関西とベトナムとの観光交流の架け橋となる名誉観光大使「KANSAI 観光大使」^(※)を任命した。



※KANSAI 観光大使

グエン・トリ・ユン氏（ミントラン社代表取締役、エヌ・アイ・シー・ディー(株)代表取締役等）

同氏は、一橋大学を卒業、筑波大学博士課程を修了し、国際連合地域開発センターでの勤務等を経て、1993 年、日本でエヌ・アイ・シー・ディー(株)（旅行業許可）を設立。1994 年、ベトナムでミントラン社を設立し、日越間の観光・経済・文化交流など様々な事業を展開。2003 年からは日越パートナーシップ (JAVIP) 副会長にも就任し、日本-ベトナムの各分野で活躍。幅広い人脈と様々な取組を活かし、関西をはじめとする日本の魅力を発信している。



< 参考／表彰等 >

- 2007 年 ひょうご友好親善大使
- 2013 年 兵庫県功労者表彰
- 2014 年 ベトナム首相功労者表彰
- 2015 年 叙勲 (旭日小綬章)

(3) 交流レセプション (11/27(金)19:30-21:30 ミントランガーデン)

関西観光セミナーの終了後、引き続き約 100 名を招いて、ミントランガーデンの屋外会場において、関西の P R を兼ねたレセプションを開催した。会場では、関西のお菓子やお酒を振る舞うとともに、各府県市の P R 映像などを通じて「関西」をアピールした。



(4) ホーチミン市テレビ局訪問 (11/28(土)9:00-10:20 ホーチミン市テレビ局)

ホーチミン市テレビ局のニューエン・クイ・ホア社長等と意見交換を行い、ホア社長から、朝日放送とパートナーとして業務展開するようになり、日越交流の歴史や関西の経済・文化など、様々なドキュメンタリー番組を制作していることなどの説明を受けた。

意見交換の後、井戸連合長、秋山連合協議会長、天谷近畿運輸局長の3名が取材を受け、関西の魅力の紹介や関西の観光の潜在力などをアピールした。また、ユン KANSAI 観光大使にも、大使としての最初の仕事として取材を受けていただき、テレビ局側からも今後も持続的に力添えいただくこととなった。



(5) エースコックベトナム工場の視察

(11/28(土)11:00-12:15 エースコックベトナム・ホーチミン工場)

約20年前にベトナムに進出した即席麺製造販売のエースコックベトナムのホーチミン工場を訪問し、製造工程等の視察や関西のPR等について意見交換を行った。その中で、梶原社長から、関西へ社員のインセンティブ旅行を計画していることが伝えられた。

ベトナムでの即席麺のシェア50%以上と、日越融合や現地化を推進する関西企業の本トナムでの活躍に、日本企業の本トナムでの発展の鍵が見いだされ、今後とも関西として連携を図ることが交わされた。



(6) 関西観光展の開催 (11/28(土)14:10-14:45 イオンベトナム・タンフーセラドン店内)

ホーチミン市内の大型商業店舗イオン・タンフーセラドン店において、11月23日～28日の1週間、関西の進出企業（エースコック、ハウス食品、グリコ、ロート製薬）及び旅行会社（HIS、JTB）と共同で、関西観光展を開催した。

最終日となる28日に今回の訪問団が観光展に参加し、観光PRを行った。ベトナムでイオンモールは日本のスーパーとして人気が高く、大勢のお客で賑わっていた。ブースでは、大阪、京都、神戸の知名度は高いものの、「関西」の認知度はまだ低く感じられ、一般消費者に対する「関西」全体の観光情報のよいPRの機会となった。



(7) イオンベトナム関係者との意見交換

(11/28(土)15:15-16:00 イオンベトナム・タンフーセラドン店内)

今年7月に包括連携協定を締結したイオングループ・アセアン本社の関連会社であり、今回のベトナムでの観光プロモーションにおいて関西観光展の開催にご協力いただいたイオンベトナムの尾山代表等と意見交換を行った。

今後、人口の増加や経済力の強化により、観光面、物流面を含めベトナムがさらに魅力ある市場となりうるとの期待が大きいと意見交換がまとめられた。



(8) ホーチミン市長表敬訪問 (11/28(土)17:00-17:45 ホーチミン市役所)

ホーチミン市のレ・ホン・クアン市長を表敬訪問し、井戸連合長から、関西への観光客誘致を主目的にプロモーションや観光展を開催するため来越したことなどを説明し、前日からの行程の内容や感想を含め幹部と意見交換を行った。これに対し、クアン市長から、ホーチミンで3回目となるジャパンフェスティバルを開催したこと、6,000人に近い日本人が居住していることなど、ますます日本との関係が深くなっているとの話があった。

こうした中、井戸連合長から、ホーチミン及び周辺の地方自治体を含めたホーチミン連合と関西との交流のためのプラットフォームづくりを提案し、ユン KANSAI 観光大使を通したさらなる交流を目指すこととなった。

